

# 第1分科会 地域連携

分科会テーマ 家庭・学校・地域の協働

研究内容 家庭・学校・地域の協働による教育活動

## 現状と課題

「社会総掛かりでの教育の実現」の名のもと、学校を核とした地域づくりが推進されています。その背景には、低下した家庭、地域の教育機能の回復と活性化という意図があります。家庭での教育と地域での様々な人々との関わりや経験を通して、子どもたちは心豊かにたくましく成長します。親や家族、地域住民が、主体的・自主的に子どもたちの教育に関わり、学校を支えていくことは、教員の働き方の見直しにもつながるものと考えます。家庭・学校・地域の役割を再認識し、協働による子供の育成について考えます。

## 討議の視点

- 家庭・学校・地域をつなぐPTAの役割
- 地域と共に発信する協働の在り方

## 基調講演



講演題名 家庭・学校・地域の協働による育み  
基調講演者名 金澤 和子  
所 属 山形県家庭教育アドバイザー  
山形県社会教育連絡協議会顧問

## プロフィール

長く中学校で教鞭をとられ、山形市立第八中学校校長でご退職されました。社会教育分野でもご活躍され、家庭教育の推進に尽力されました。御退職後は、山形県男女共同参画センター「チェリア」の館長をされ、男女共同参画の推進に貢献されました。現在は、「ごみ減量・もったいないねっと山形」の会長として、山形の食文化、エコクッキング等の普及、推進に取り組まれています。社会教育、学校教育の現場での豊かな経験をもとに、発達段階に応じた子育てや、生きがいつくり、男女共同参画、ワークライフバランス等、グループワークを交えながら、楽しくわかりやすくお話していただきます。

## 講演内容

- 1 家庭・学校・地域の協働～実践活動映像から～
- 2 なぜ社会総掛かりか

科学や教育の本来の目的は「学びの成果を社会に還元」すること。したがって児童・生徒は「学びの成果を現実の社会で貢献できる立派な社会人」になることが期待されます。子ども達はそれぞれの家庭で家族からの学びが原点です。同時に生まれ育つ地域や学校での周りの大人からの導きや日々の体験を重ねることで、主体性や創造性が育ち、身の回りの課題を解決していく力も育ちます。人的環境（学校・家庭・地域の方）からの学びは子どもの健やかな成長に不可欠なのです。

- 3 家庭・学校・地域をつなぐ～PTAが今できること～

PTAは社会教育関係団体に該当する任意団体としては最大規模ともいえる組織の一つです。しかも「保護者と教師の会」として学社連携・融合を進める大きな鍵を握っているともいえます。「生涯にわたる学習」が必須な現代では、日常的に家庭・学校・地域が教育空間として子どものそばにあることが必要です。PTAがこの空間づくりの中核として活動を進めれば、未来社会の担い手である子どもも地域の方も皆「共育ち」ができます。

- 4 協働のこれから

子どもたちの未来は「豊かな森林」。しっかりした「根っこのしつけや育み」は家庭で、「幹を太らせ枝の健全な成長」は学校で、「葉っぱを茂らせる」のは地域。三者が力を合わせ「地域の子ども」のために迅速に活動することが大切です。協働の推進もPTA活動に期待されます。

家庭・学校・地域の協働について、コミュニティスクールや避難所運営訓練の事例が出された。今後、より一層PTAは、家庭・学校・地域を繋ぐ役割を求められていることを確認した。

## 写真



## 基調講演

コーディネーター

遠藤 正明 山形県家庭教育アドバイザー  
山形県PTA連合会元会長

パネリスト

鈴木 信一 宮城県PTA連合会 副会長  
柴田 知弘 青森県青森市立東中学校PTA 会長  
小林 智浩 山形県東根市立第二中学校PTA 会長

分科会運営責任者

杉山 昌行 宮城県PTA連合会 会長

分科会会場責任者

大滝 展啓 山形県南陽市立宮内中学校PTA 会長

会場

シェルターなんようホール（南陽市文化会館）大ホール